

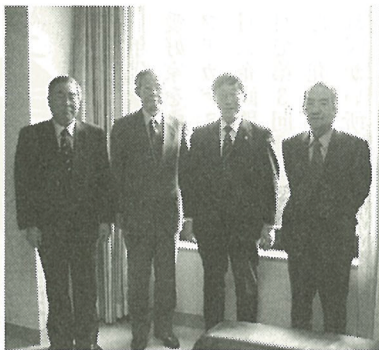


母校25周年に寄せて

稲門英語会会長

松橋 功 (昭和31年卒)

母校建学百二十五周年記念事業への参画方については、かねてからいろいろと皆さんのご意見を伺ってまいりましたが、昨年十二月に開かれた総会で、会員



ての財政状況も勘案しながら、百二十五周年にあわせて寄付金百二十五万円とすること、と決議されました。

同窓会情報

故白井昭二君を偲ぶ

鹿毛 穰治 (昭和31年卒)

これを受けて今年三月二十三日、君和田幹事長、坂田副幹事長と三人で、大隈会館の総長室に白井総長を訪ねて懇談をしました。懇談は、わが「英語会」がこれまで百有余年にわたり果たしてきた



白井昭二君が亡くなったとの知らせを早川守から受けた。八月六日、死因は脳梗塞だったとの事。涼しくなったら熊谷に住んでいる白根豪(旧姓小山)とでも会いに行きつもらいだ

その後について

遠間 昌平 (昭和36年卒)

丁度5年前、平成14年10月17日(木)、テレビ局のリハーサル・ルームで、私は気分が悪くなったのです。「救急車を呼んでください!」と必死で叫びました。これが、記憶の最後です

菅野博文君を偲ぶ

児玉 士誠 (昭和37年卒)

タイの菅野博文君が七月二十九日、闘病八ヶ月余でついに不帰の人になりました。享年七十歳。同期のトップで古稀を迎える菅野君を祝う会を開催したのが去年の夏のこと。その会の模様やタイでの公私にわたる活躍ぶりについては去年のこの紙面でも紹介しましたが、それから丁度一年後、今度は偲ぶ会を開催することになってしまいました

英稲会メンバーの頃

広江 尚司 (昭和38年卒)

卒業後四十三年、英稲会(昭和三十八年卒の会)メンバー五十人強は毎年冬に銀座明治屋で開かれる集いが楽しみである。今年二月二十七日に開かれ九州から駆けつけた田崎君を始め三十名が参加した。

田園調布周辺散策

安齊 洋二 (昭和39年卒)

五月二十七日の土曜の日に、田園調布駅に近い、「三丁目食堂」という、昔風の洋風レストランに、「和龍会」の仲間十九名が集まった。佐々木邦男君はわざわざ旭川から参加してくれた。ゆつくりと歓談したあと、ぶらぶらと散策を楽しんだ。

「早稲田実業」の活躍に乾杯!

伊東克己 (S23卒)

夏の甲子園後、しばらく野球観戦の感動を伝えるEメールや同窓の返信が飛び交った。感動はあまねく天下に広がった。まして早実出身者や関係者の興奮は計り知れない。「アメリカン・ベースボール」の著者、嶋田隆君(S26卒)は早実野球部の出身だから、感激もひとしおであっただろう。早実出身者にお祝いを申し上げたい。

早実の初代校長は、人生劇場で有名な早稲田騒動(大正六年)に敗れて早大校長を辞した経済学者天野為之先生。従ったのが東洋経済新報の石橋湛山、浅川栄次郎両先生。石橋先生は超短命だったが首相になった。浅川先生は伊地知純正先生と同期の英語会一期生で、三菱経済研究所所長から二代校長になった。

この縁で私も昭和二十三年卒業と同時に早実で教壇に立ち、短期間だが浅川先生には可愛がって頂いた。後に学生運動の激化で大学の教室が使用できなくなった時には、英語劇のリハなどに早実の教室を借りた。他の教員の反対もあったのに借用できたのは先生のおかげである。



総会・忘年会のご案内

◆今年度の総会・忘年会は12月7日(木)午後6時から開催します。皆様お誘い合わせの上、是非ご出席ください。場所 レストラン「アラスカ」電話:3503 2722 住所:〒100-0011千代田区内幸町二丁目一 日本プレスセンタービル

《会費納入のお願い》

「稲門英語会」は皆様の会費によってすべてが運営されています。早大英語会補助、優勝カップ保管費、会員通信費など、会の継続のための大切な資金です。2007年度会費の納入をお願いいたします。今年度会費をまだ納入されていない方も、ご入金をお願いいたします。年会費は三千元です。口座名義は「稲門英語会」、お手数ですが必ず卒業年次をお書きください。

- ◆郵便振替/郵便振替口座: No. 00100-4-9538 (同封の郵便振替用紙をご利用ください)
◆銀行振込/三菱東京UFJ銀行 虎ノ門中央支店 (店番332) 普通預金口座: No. 152412
みずほ銀行 虎ノ門支店 (店番046) 普通預金口座: No. 2283024
◇口座自動引落をご利用の方で、金融機関名・支店名・口座番号が変更になった場合は変更届をご提出ください。また、自動引落の登録をご希望の方は事務局までご連絡ください。